

## モニタリング計画

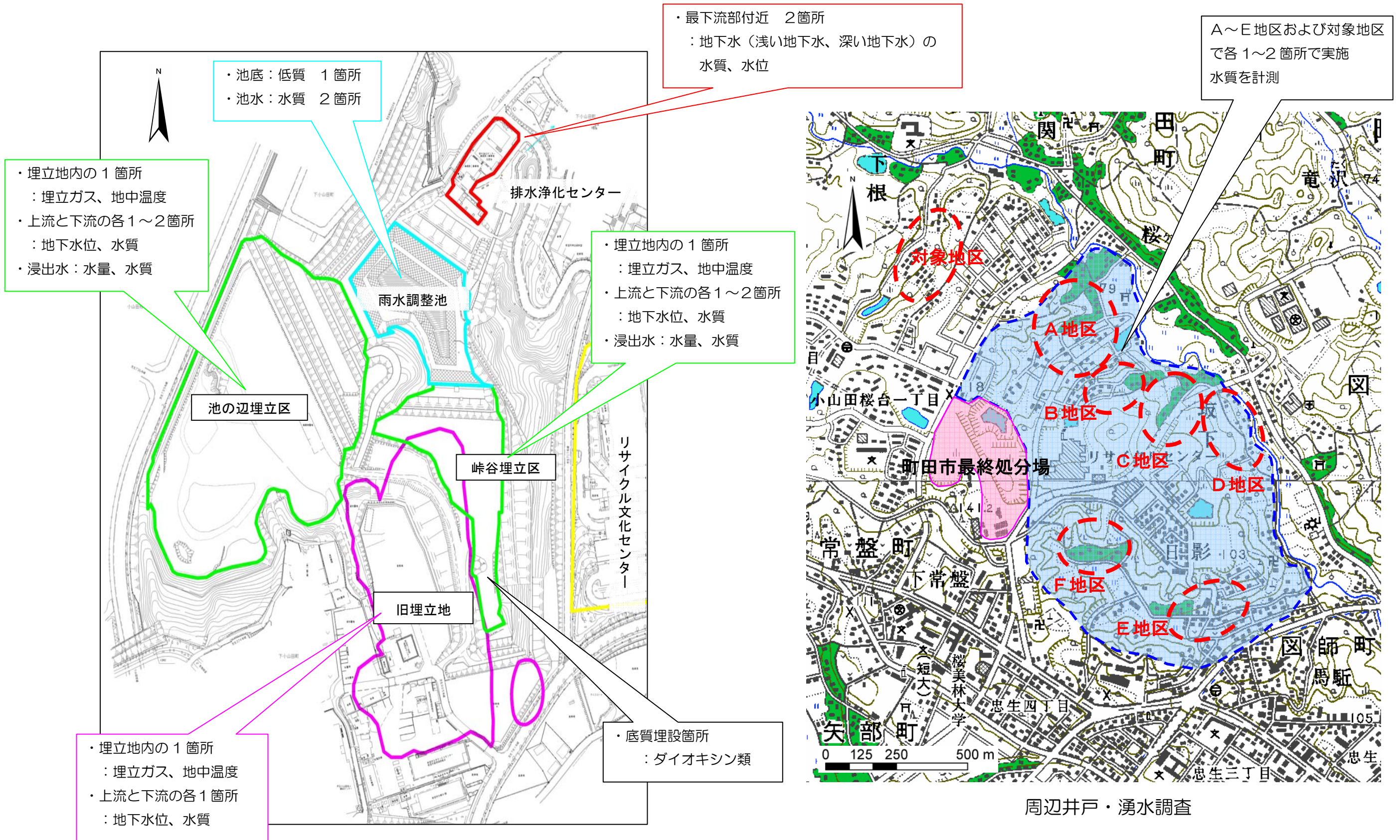
目的	対象	分析項目	箇所数	調査頻度		
				工事中	工事完了 対策効果確認 (目安 3~5年)	長期的な管理
埋立地内の安定性	浸出水原水	・基礎的項目：pH、EC、水温、外観など6項目 ・早期に影響を把握するトレーサ項目：塩素イオンなど6項目	1箇所（浸出水原水）	・4回/年 (水質:pH,EC,水温,Cl) ・1回/年（全項目）※	1回/年	
	埋立ガス	・ガス量、温度、メタンなど 7項目	3箇所 (各埋立区毎に実施)		安定化の状況により実施の有無や調査頻度等を判断	
	地中温度	・1m 深度毎に温度を測定				
	水収支	・各埋立区からの浸出水の流量を計測	2箇所	1回/月	状況により実施の有無を判断	
埋立地周辺への影響	周辺地下水	・基礎的項目：pH、EC、水温、外観など6項目 ・早期に影響を把握するトレーサ項目：塩素イオンなど6項目	・9箇所 (各埋立区の上流と下流で各1~2箇所を実施)	・4回/年 (水質:pH,EC,水温,Cl) ・1回/年（全項目）※	1回/年	
		・連続観測（EC、pH、水温、水位）	・6箇所 (既往の調査箇所継続して実施)			1回/月
		・その他の項目：鉛、砒素、バイオアッセイなどを含めて来年度に試行を行い決定する	調査位置は来年度に試行を行い決定する	1回/年	1回/1~数年	
	雨水調整池	・底質：ダイオキシン類、土壤環境基準の全項目 ・水質：周辺地下水と同様の項目(連続観測を除く) ・浚渫した底質を埋設した箇所：ダイオキシン類	・底質：1箇所 ・水質：2箇所 ・底質埋設箇所付近：1箇所	実施無し (除去工事実施のため)	・4回/年 (水質:pH,EC,水温,Cl) ・1回/年（全項目）※	状況により実施の有無や調査頻度等を判断
周辺地区の確認	周辺民家井戸・湧水	・水質（EC、pH、Cl）	・8箇所程度	1回/年	1回/年	
工事後の変化を確認	水質測定全地点	・陸水の主要イオン7項目を分析し成分比率を比較	20箇所 (上記の全水質測定地点)	実施無し	工事後2回	なし

注：データを見ながら、分析項目・箇所・調査頻度を見直していく

※埋立区毎に、工事完了時点においては、完了1ヶ月後に実施



# モニタリング位置図



モニタリング計画一覧図

## 町田市廃棄物最終処分場閉鎖等検討委員会

### 検討報告書(案)

#### 確認事項1: 検討報告書の趣旨

本報告書は、委員会設置要綱 第2 に基づき、委員会が市長へ報告するために作成するものであり、「町田市廃棄物最終処分場の閉鎖及び廃止に当たり、周辺の環境に汚染等をもたらすことなく、安全に閉鎖し、及び廃止すること(設置要綱から抜粋)」に資するものとする。

#### 確認事項2: 検討委員会の責任範囲と市の責任範囲

本委員会は、事務局(市)の案を討議資料として、個々の配慮すべき対策とその対策の基本的な考え方や具体方針を検討してきた。そして、本委員会での検討結果を受けて、事務局(市)が再度検討・計画する形式で進めてきた。

そのため、本報告書では、検討委員会としての責任範囲として、「対策の基本的な考え方と具体方針」までとし、各種調査結果、対策工の具体的計画は参考として巻末に掲載するものとする。

平成 21 年3月

町田市廃棄物最終処分場閉鎖等検討委員会

## 目 次(案)

### 1. 町田市廃棄物最終処分場閉鎖等検討委員会の概要

- 1.1 目的
- 1.2 実施事項
- 1.3 委員会の委員(15名)

### 2. 町田市最終処分場の概要

- 2.1 処分場の構造等
- 2.2 現在の安全性の確認
  - (1) 地下水
  - (2) 大気(発生ガス)
  - (3) 周辺井戸
  - (4) 浸出水原水

### 3. 安全な閉鎖に向けた対策

- 3.1 対策の基本的な考え方
- 3.2 対策の具体方針
  - (1) 対策工法
  - (2) 対策の管理・監視方法
  - (3) 対策後の管理方法

#### 確認事項3:検討報告書の構成

本報告書は、「委員会の概要」「処分場の概要」「安全な閉鎖に向けた対策」の3部構成とする。

また、「処分場の概要」においては、処分場の安全性の確認として、調査結果に関するコメントを記載する。

なお、「安全な閉鎖に向けた対策」の記載内容は、確認事項2のとおり、対策の基本的な考え方と具体方針までとする。

#### 巻末資料

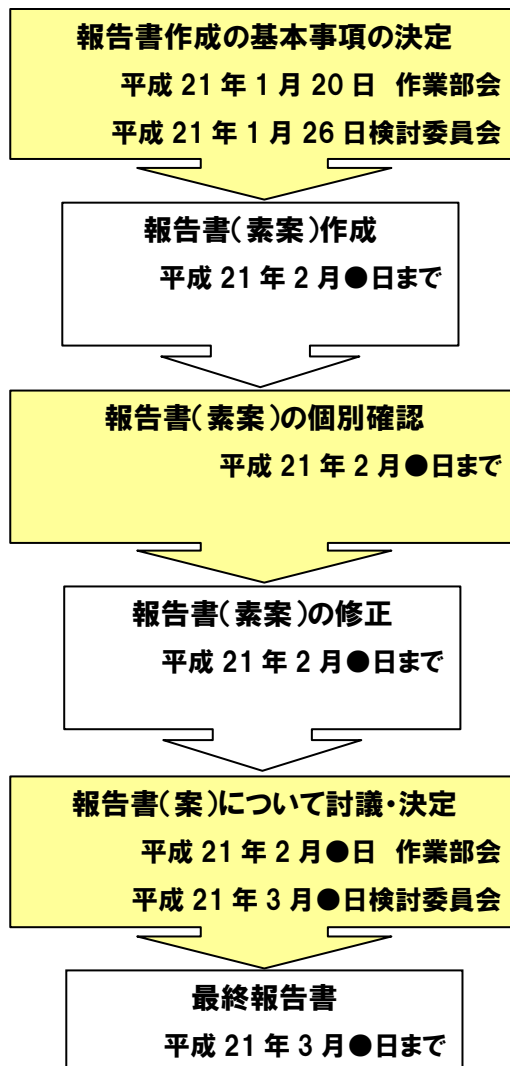
図面、各種調査結果などを抜粋して掲載

#### 確認事項4:記載イメージ

本報告書における記載は、様々な調査結果を基に討議した結果として、議事録等に記載されている事項を文章化する。なお、文章を補足する詳細なデータ等は、巻末資料とする。



## 報告書作成の手順等



### 確認事項5:作成手順

本報告書の作成手順は、事務局からの素案を基に、必要に応じて委員の方に個別に確認をしていただき、委員の方の意見を踏まえ、素案を修正いたします。

修正した報告書を案として、作業部会並びに検討委員会で討議していただき、最終報告書としていきたいと思っております。

### 今後のスケジュール(案)

	平成21年1月			2月			3月					
	10日	20日	31日	10日	20日	28日	5日	10日	15日	20日	25日	31日
委員会			⑨26日				⑩月上旬					
作業部会		⑨20日				⑩下旬						
住民報告会 (委員会主催)										◆中旬		
委員会報告書			← 報告書(案)作成 →				← 報告書(見直し) →		★委員長 最終確認			★市長への報告
住民報告会資料			← 資料(案)作成 →				← 資料(見直し) →		★住民への報告			

